

町田市議会議員(議長)・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野 2-2-22
☎042-724-2171
2期連続トップ当選

議長就任活動報告会の趣旨

開催した「議長就任活動報告会」では、以下の内容の趣旨を文書で配布しました。会の来賓のトップは、私が困難に陥った時期に、お世話になった山東昭子参議院議員(6期:元副議長)にお願いしました。

選挙歴12回(6勝6敗)、市議会当選6期目を持って、「保守連合」会派毛性に参画し、このたびの議長就任に至りました。無事に一回目の定例会を終えましたが、このことは市民の皆様と会派を超えた全議員のご理解があってこそ、議会運営ができていたのだと考えています。

町田市議会は、東京都内の自治体議会で情報公開度(透明度)No.1と評されていますが、その評価をさらに高めることは情報公開をいち早く推進してきた私に託されているのだと考えています。他方で、市民の皆様のおさまの声を議員がその質問に反映し、議会の議論を通じて行政に伝える場を的確に確保するかが議長の役目と考えています。さらには、行政の垣根を越えて近隣都市と手を携え、躍進する都市を目指していくことが私の仕事と任じていきたいと思っています。

会場には300人近くが集まって頂きました。



同僚の町田市議会議員はその日、22人が集まってくれる。

議長就任活動報告会の主張

この日の報告会では、横浜市議会議長の梶村充氏(5期目)と相模原市議会議長の阿部善博氏(4期目)に出席していただき、友人の立場からその相互の在り方について話していただきました。

町田市と横浜市・相模原市は都県境を挟んだ間柄ですが、市政では横浜市と町田市の縁は薄く、特に市議会相互の交流は行われていませんでした。相模原市と町田市はこれまでも交流を重ねており、さらに親交を深め、隣接都市圏を作る契機にしたいと考えました。

言うまでもなく、町田市は東京都の南西部にあり、神奈川県にはみ出した地形を為しており、川崎市を含めた連携が欠かせません。

もちろん、それらの3市は全部が政令指定都市となっており、自治体権限が町田市と比べ格段に大きくなっています。リニア中央新幹線の2027年開通に向け、JR横浜線、あるいは国道16号線に連なる高速道路網に即したエリアの共通開発が近々の課題になっています。町田市と言うこの東京都の西南部エリアにも、都政の恩恵があるように政策転換を迫ることが肝要です。



3市議会、3議長の相互協力を誓いました。

無所属で活動・市議会は保守連合 **市議会議長として、休まず執務中**

HP <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



QRコードでメール送信ができます

町田市議会議員(議長)・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

市議会議長として、連日活動中



楽しい社会体験プログラム



携帯QRコード
でブログ閲覧

鉄道会社への議長要請行動

鉄道会社 3 社(多摩都市モノレール、東日本旅客鉄道、京王電鉄)への平成 29 年要請行動を行いました。メンバーは、南多摩市議会議長会の 5 人でした。参加したメンバーは、会長の稲城市議会議員 原島茂氏、八王子市議会議員 福安 徹氏、町田市議会議員 吉田つとむ、日野市議会議員 西野 正人氏、多摩市議会議員 萩原 重治氏でした。



まず、多摩都市モノレール株式会社を訪ねましたが、代表取締役 河島 均氏をはじめ全部で 10 名の対応でした。写真のように要望書を渡し、各市議会で個別の要望を加えました。私は、その町田延伸を期待していることを冒頭に述べました。なお、町田延伸に関して、多摩市民にも共感が多い旨の話が多摩市議会議員 萩原 重治氏からも追加して述べていただきました。多摩都市モノレール側でも、この路線の延伸には深い関心を示してくれました。そこで、私は町田市は都議会議員が 1 名増加して 4 名になり、都政で町田市延伸の立場が強まると述べました。以下は、ブログに記載しました。

高齢者施設完成と挨拶

町田市南大谷に、高齢者施設「レガメ町田」がオープンし、その開所式で挨拶しました。その建物の最上階から見たこと、その景観と周りの人の期待について以下のように述べました。南側の部屋から眺めると、晴美台自治会の地域や、高ヶ坂公社住宅が見えました。高齢者の皆さんが大勢居住される地区になります。そうした皆さんが一番喜ばれることでしょう。また、近くには南大谷小学校(含む：町田第六小学校)があり、子どもさんとの交流も期待されます。以前の畑だったところが多機能な高齢者施設に生まれ変わりますが、その意義が別の形で伝えられることになるでしょう。この施設は多機能型のタイプで、短期入所生活施設、通所介護(デイサービス)、居宅介護支援(ケアマネージャー)、地域防災拠点機能も併せ持った形態でした。居住室内は、個室になったタイプで共有スペースも余裕を持った作りでした。そこで、上記の発言に加えて、私が後期高齢者になる頃には、施設の在り方も大きく変わって、一部屋に大勢の人が入るタイプの居室に変わっていくのではないかと。この時代を起点に大きな変化が起きることを予測して将来の施設の在り方を展望して話しました。



理事長から建設会社に感謝状を贈る

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ この印刷物は、政務活動費を一切使用していません。自前の費用で発行するものです。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp (モバイルのみ接続)